

過去は変えられる!

「過去は変えられないが
未来は変えられる!」という名言が

ありますが 実は逆のようです。

過去に起きた事実は変えようがありませんが
その事実の現象に対して抱いた思いや考えを
変えられるという意味なのです。

女嫌な出来事や失敗したこと、辛い出来事や
ハンディーと思ったことが
〇〇〇のおかげ...と思ったときから変えられる
のです。

過去の事実は解釈次第で意味が変わる
ようです。

未来についてはあらかじめ決まっていること
も多々あります。そこは変えられませんが

今現在の自分が何をしているかで
未来は決まる。

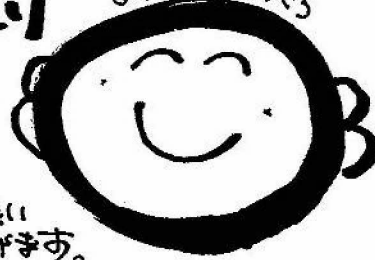
変えられるとすると未来ではなく
現在のふるまいのようです。♡

おじさん

たより

おかげありがた

2020.8月
Vol.183



お見舞い
おしげます。

鳥越介順

働いっしょに保険を選びましょうオフィス鳥越

ある

しくじり先生が

言われるには

今まで数々多くの失敗を繰り返してきました。

そして気がついたのは

本物の**人格**とは

安らげて 平穏な 中では
形成されず

挑戦と**失敗**で形成される

ということでした。

名言だと思います。

Tシャツ

夏が終わるころ、衣替の季節に 妻が
タンスの中の夏物と冬物の服の入替え
作業をやってくれる。

私はそこに呼ばれると、もう夏服が広げられていて、

妻「さあ始めるよ! このTシャツは要る?
どねとも捨てる?」

私「あ...あ- 要る 要る!」

妻「じゃあこれは? かなり前から持ってるよわ」

私「かなり思い入れのあるTシャツ... 要ります」

妻「このTシャツは要らんやろ?

今年は1回も着てなかったもんわ」

私「お気に入りで勿体なくて 着てなかっただけで...」

妻「えっ! とんだだけTシャツあるん? 捨てる
新しいの買えんよ!」

私「じゃあ これを思い切って捨てるよ」
生けにえ的なTシャツはゴメンなさい...」

なかなか お気に入りな服が湧いて捨てるわ
また、大切に着るので傷まないから長持ちして
しまうのが実際のところ。

そんなこんな仕訳をやりつけて
生残りが 今年の夏に着ている

Tシャツたちなんです♡